

## 出前講座「東日本大震災について」

- 開催日時：平成27年9月15日（火）10時45分から11時45分
- 開催場所：一関市立 東山中学校 体育館
- 参加者：3年生62名

国土交通省岩手河川国道事務所では、総合的な学習の一環として出前講座を開催しております。

9月15日（火）一関市立東山中学校において出前講座を実施し、3年生62名が参加しました。この出前講座は、一関市立東山中学校が防災教育の一環として実施しているもので、10月に陸前高田市を訪問する事前学習として学校側からの要請を受けて、当事務所計画課の船水課長が「東日本大震災への対応」と題して講演しました。

まず最初に、平成23年3月11日に発生した東日本大震災について、被害の概要を説明し、ヘリコプターやCCTVカメラから撮影した映像を紹介しました。そして、国土交通省が沿岸被災地への救援ルートを確保するために地元の建設業者の協力を得ながら『啓開』をしたことや、自治体を支援するためにリエゾン（災害対策現地情報連絡員）やTEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）を派遣したこと、さらには支援物資を調達した「ヤミ屋のオヤジ」エピソードを紹介しました。

最後に、命の道となった「釜石山田道路」の話や「津波記憶石」の話に触れながら、いのちを守るために、生き抜くためにどう行動するかを生徒の皆さんに説明しました。

生徒の皆さんからは「道路を開くために、自衛隊や警察・消防の方々だけでなく、地域の人の協力があった事を初めて知った」「復興までの道のりを学べた」「震災の教訓を活かしてしっかり生き延びたい」などの感想をいただきました。

今日の出前講座を通じて、4年前に発生した東日本大震災がどのような地震だったのかを振り返り、いざという時にどう行動すべきかを考えるきっかけになれば幸いです。



講義をする船水課長と、東山中学校3年生生徒の皆さん



生徒の皆さんから、最後に感想とお礼の言葉を頂きました